

笑顔あふれる、異世代交流の場を目指して



会津ジゴ坂学舎

ふくしま はじめ人^{びと}

File No.08

会津ジゴ坂学舎 スタッフ

ゆみ た ひろこ

弓田 博子^{さん}(下郷町)

<プロフィール>

下郷町出身。高校卒業後、上京して不動産会社の事務員として勤務。平成21年にUターンし、その年の9月にジゴ坂学舎と出会う。現在は管理・運営スタッフの一員として活躍。

田舎の良さを再発見

「学生のころは都会に憧れがありました。いつも変わらない景色や田舎の風景が当たり前前に映って、地元の良さが全然分からなかったですね。だから、卒業してすぐ東京で就職したんです」と、当時を振り返る弓田さん。

「年齢を重ねたからですかね。地元に戻ってくるたびに、少しずつ感じ方が変わってきたんですよ。こんなに自然がキラキラしてたかな？とか、食べ物がとってもおいしいこととか。大自然に包まれて、四季を通じた暮らしをすてきに感じるようになったんです。平成21年に地元に戻る決心をして、実家の農業を進んで手伝うようになりました。とっっても新鮮でしたね」

廃校が交流と情報発信の場に

「この建物は、旧・旭田小学校落合分校を利用しています。廃校になったのは知っていましたが、築100年以上の歴史があったので、とても寂しく感じていました。一昨年の秋に、安孫子^{あひこ}巨^{こわたる}監督が「県内から発信しないと本当の福島」の

撮影ができない」と、下郷町を映画作りの拠点にしたんです。

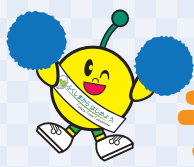
そして昨年5月、地元の皆さんの交流の場になるように、映画が楽しめるシアタールームのほか、会津の特産品を味わえるカフェ、直売所のマルシェ&ショップ、ギャラリーを新しく作って、体験参加型のワークショップなども開催できるようにした会津ジゴ坂学舎がオープンしました。



小学校の良さを生かした館内

そんな中、9月にワークショップのお手伝いをしたんです。異世代が集い、笑顔で楽しみながら民俗楽器のケーナを作って、演奏したり歌ったり。年齢を問わず人がつながって、その輪が広がっていくことの素晴らしさを強く感じました。そのとき、「この良さをみんなに伝えていきたい!」と思ったんです」

皆さんが楽しみな 安らげる空間を作る



ぼくの // わたしの // チャレンジ自慢

県内の頑張っている児童・生徒の活動を応援します！

県立会津養護学校高等部 クリーン・サービス班(会津若松市)



県立会津養護学校では、生徒一人一人が自分の役割に責任を持ち、主体的に取り組む心を育成するため、清掃作業、喫茶接客、外注作業を3つの柱として作業実習をしています。

実習の成果を発揮し、自己の課題を把握できるよう、県の特別支援学校作業技能大会や福島アビリンピック*に出場しています。ピルクリーニングや喫茶サービス部門では、良好な結果につながっています。左から橋本 竜矢さん、岩淵 亮汰さん(3年)



「地域の皆さんとのつながり」を

昨年から、外部の講師を招いて技術指導を受け、会津自然の家や市内の幼稚園での清掃活動をするなど、地域に貢献する活動を始めました。(担任の佐藤修一先生)

幼稚園では、窓ガラスに遮光フィルムが貼ってあったので、水拭き用のいつもの用具が使えず、苦労しました。実際にお伺いすると、施設ごとに条件があり、学習したことだけでなく、新しいやり方でチャレンジしてみる良い経験になりました。(岩淵さん)

街を歩いていて、汚れを見つけると「きれいにしたいな」と気になってしまいます。(橋本さん)

今年も「1位」を目指して

分からないことはそのままにしないで、全体実習の時間では足りないときは、個別に教えていただいています。(岩淵さん)

3年間やってきたことの最後なので、ぜひ1位を取りたいです。先輩たちも1位をとってきた伝統があるので！(橋本さん)



※アビリンピック

障がいのある方々が技能を競い合う競技会。職業能力の向上を図るとともに、障がい者雇用に対する理解と雇用の促進を図ることを目的としています。

「ふくしまアビリンピック2015」選手募集中！

14ページの記事もご覧ください。

あなたの周りの「チャレンジ」を大募集！！

頑張っている児童・生徒の皆さんをご紹介します。自薦・他薦を問わず、「チャレンジしていること」「活動報告」を募集します。学校・学年・クラス・部活動・サークル単位の応募はもちろん、個人の立候補も大歓迎。ふるってご応募ください。

応募方法 郵便はがきに、住所・氏名・年齢・電話番号・活動内容を記入の上、ご応募ください。採用の方には、後日ご連絡の上、取材にお伺いします。

郵送先 〒960-8670 県庁 広報課「チャレンジ自慢」係
個人情報、記事や取材などにのみ使用いたします。



Eメール・ファクスもOK!
16ページをご覧ください。



ふくしまからはじめよう。

Future From Fukushima.

会津のさまざまな特産品が並ぶ



フラスコやアルコールランプもオブジェに



「運営を任せられた当初は、この歴史ある建物を守っていくことや接客など、慣れないことだらけで不安でした。でも、畑の手入れに悩んでいけばファンの方が一緒に管理してくれたり、ワークシヨップで人手が足りない地域の方々が進んで手伝ってくれたりしたんです。皆さんには本当に感謝していますし、支えられたことで自分自身、積極的に変わったと感じています。例えばジイゴ坂で働くようになってから、工芸品ひとつひとつでも『どうやって作られているの

か？この生産者に来てもらって体験させてもらえないか？』など、具体的なイメージが湧くようになりました。異世代が楽しく学べるイベント運営のヒントを、常に探しています」

「今、校庭の周りに果樹を植えて、小さな果樹園を作ろうと考えているところです。訪れた皆さんが、さらに安らげる空間にしていきたいと思っています。ぜひ、会津の自然とあふれ出す懐かしさを感じに来ていただきたいです」